



2007 年度第 1 号



やまなみ

サンフランシスコ日本語補習校
理事会通信

2007 年 4 月 7 日

新年度を迎えて



理事長 西郷 和義

補習校の皆様、爽やかな青空に桜の花が舞う新学期がやってまいりました。入学された新1年生のお子様も、またそれぞれの学年に進級された生徒の皆様も、希望一杯だと思います。今年から新しい時間割で授業が進め

られていきます。新しくお迎えした植木校長先生、西村、木下両教頭先生のご指導とご協力を仰ぎながら、限られた時間内で学習内容の精選化と重点化をはかり、学習効果の向上を目指したいと願っています。また校務運営においては、主幹の先生方を中心に「自立する補習校」を目標として、より良い学校づくりに前進したいと考えております。

私たち理事会も、補習校のために毎日献身的に働いてくださる事務局の方々と手を携えて、子供たちが安全でのびのびと学べる学校を目指して励んでいきたいと思ひます。今年一年どうぞよろしくお願い申し上げます。

赴任にあたって



校長 植木 進策

このたび、文部科学省から前岩崎校長の後任として派遣されました植木進策と申します。歌劇の町、兵庫県の宝塚市からやってきました。

私は1998年度(平成10年度)から3年間、同じカリフォルニア州のロス・アンジェルス補習授業校(あさひ学園)に校長として派遣されていましたが、その間、多くのことを学ばせていただきました。補習授業校は、公立の学校や私学のようにしっかりとした財政的、人的基盤があるわけではありません。何十年か昔にこの地に來られた方達が、何とか日本の教育を自分の子ども達に受けさせたいという熱い想いから、お父さんお母さんが、先生となり、校長先生となり、理事長になって会議室の1室などを借りて始めた学校です。当然、資金なし、人手無し、教育のカリキュラム無しのなかで、あるのは「日本の教育を我が子に」という熱い情熱と「足りないところはお互いに手をさしのべて」という団結心だけでした。そして、時々理事会、保護者、先生方の必死の努力と、それを支える地域の方の協力によって補習校は維持されてきたと思ひております。

このサンフランシスコ日本語補習校、児童生徒数1,100名を越える世界第2の大規模補習校になり、日本政府の援助を受けていても基本は同じです。ボランティアの理事会、土曜日だけ来ていただく先生、子どものために努力を惜しまない保護者の方が力を合わせても、足りないすき間は出てきます。このすき間を埋めるのはまさに自分たちであり、その努力と協力と助け合いが必要不可欠なのが補習授業校だと思ひております。

私は「補習授業校は、その存在そのものに意義がある。」と思ひております。サンフランシスコ日本語補習校の存在が、ここで学ぶ子ども達にとって人生の中でかけがいのないものとなるよう地域の方々と共に頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

2007 年度理事会の役員構成

| | |
|------|--------|
| 理事長 | 西郷 和義 |
| 副理事長 | 竹内 光憲 |
| 財務役 | 藤井 ひろみ |
| 監査役 | 渡辺 隆章 |

2007 年度理事の所感・抱負



竹内光憲

2005年12月から日立アメリカ社にて人事を担当しております。2006年度は法規委員長として補習校運営のお手伝いをさせて頂きました。補習校に学ぶ児童・生徒たちが、より一層安心して楽しく有意義な時間を過ごすことの出来るよう、微力ながら2007年度もお手伝いさせて頂きたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



藤井ひろみ

昨年度は保護者会より理事会に参加させて頂き、補習校は皆様の誠意と熱意で運営されているのだと実感いたしました。もう一年、その陣営の中で微力ではございますがお役に立てたらと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



渡辺隆章

昨年度は補習校の活動について色々とお話をさせていただくとともに、改めて子女教育の重要さを感じました。これからも補習校にとり課題は各種出てくると思ひますが、理事会の一員として、

皆様方、教職員の方々と連携をし、より魅力ある補習校づくりに向け、微力ではありますが、補習校の運営等のお役に立てればと考えています。よろしくお願いたします。



アルドリッチ
和子

サンノゼ校保護者会会長として理事会に参加いたします。保護者の皆さん一人一人と理事会とを繋ぐリエゾンとして相互風通しよく情報交換ができる関係のため尽力したいと思っております。子供たちがより楽しく学べる学校への希望、期待とは何かを具体的に伝えられたらと考えております。よろしくお願いたします。

4年前に保護者会のお手伝いをさせて頂いた時に、1年間理事を仰せつかりました。ここ3年間に理事会はすっかり様変わりをして近代化を遂げ、幾つもの重要課題を解決して来たと思います。しかし、まだまだ課題が山積みしています。補習校は今、まさに転換期の真っ只中です。微力ながらも補習校の舵取りのお手伝いをさせて頂きたく思います。皆様のご支援なしでは補習校は成り立ちません。よろしくお願いたします。



唐崎建二

この度、保護者会から理事を勤めさせて頂きます。当日本語補習校は、子供達及び保護者の方々のニーズがあって始めて存在しているという事を、最近実感致しております。このニーズから、日本語補習校が組織され、理事会、事務局、教職員の方々を構成し、そのバックには再び保護者会がサポートしているという形と、認識しております。この根本のニーズを巧く集約して、理事会活動に反映していける様、努力していきたいと思っております。1年間宜しくお願致します。



小島眞志

2004年にサンノゼ校で保護者会役員をつとめさせて頂き、その後は理事会より委嘱を受けた将来像検討委員会、幼稚部検討委員会の両委員会に参加する機会をいただきました。子供たちが補習校に1999年からお世話になり、今年度は高2、中2、小4となります。3校にそれぞれ子供がいる最後の年となることもあり、保護者の一員として、何かの形でお役に立てればと考えております。どうぞよろしくお願いたします。



土井千景



持永俊介

今年度のSJ校保護者会役員 更に理事としての仕事をさせて頂くことになりました。昨年度より多くの皆様の関心事である“開かれた学校”をめざし、保護者の方々のご意見やご要望をより多く理事会に伝えるパイプ役として尽力するつもりです。補習校の主役である子供たちがのびのびと楽しく学べる、そして貴重な思い出を残せる学校作りの裏方を務めたいと考えています。



森紀人

ANA(全日空)のサンフランシスコ支店長をしております。昨年の4月にこちらに赴任してまいりました。赴任後1年足らず、しかも単身ということで、当地事情・補習校の様子など不案内なことばかりですが、駐在員の子弟がお世話になるという事情やら、重要なお客様の子女教育に微力ながらお役に立てればと思いい推薦をお受けしました。



山口高宏

本年度保護者会より理事会に参加させて頂くことになりました。補習校は生徒、先生と学校、理事会と保護者会で成り立っています。子供達を安心して補習校に通わせ、成長して行くのが我々保護者の祈りです。SF保護者会の代表として保護者の皆様の意見を学校運営の場に投げかけて行きたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

2007年度保護者会役員会の構成

| | サンフランシスコ校 | サンノゼ校 |
|------|-------------|-----------|
| 会長 | 山口 高宏(代表会長) | アルドリッチ 和子 |
| 副会長 | 小島 眞志 | 賀川 正人 |
| 書記 | 越 孝子 | ヤマサキ 絵理子 |
| 会計 | 金光 雅美 | 持永 俊介 |
| 会長補佐 | ホールバーグ 美恵子 | ミラー 千恵 |
| 会長補佐 | 山田 智子 | 松田 由美 |
| 会長補佐 | ウォング 泰子 | |
| 会長補佐 | 関崎 朋子 | |

